



大樹のこころ

光学級卒業式

本校には「光学級」という民族学級があります。月曜日の6時間目、不定期で年間10回ほど行われる教室で、韓国について学ぶものです。ハングル語はもちろんのこと、韓国の遊びや料理、歌などを学習していきます。この光学級は4年生以上の子供を対象とし、毎年希望者を募っていきます。とても人気で希望者が多く、4年生ではなかなか入級できないのが現状です。

その光学級の卒業式が3月4日(月)に行われました。今年の光学級の卒業生は16名です。この数だけ耳にするとこじんまりとした式を想像されるかもしれませんが、とんでもありません。来賓がとても豪華なのです。名古屋総領事館の領事をはじめとして、民団岡崎支部支団長、愛知県本部文教部長、民団岡崎支部副支団長と4名の方をお迎えしました。総領事館の領事が卒業式に出席されると聞いて、民団が光学級をいかに大事にしているのかが伝わってきました。

卒業式では岡崎支部支団長から、卒業生一人一人に証書が授与されていきます。学校長からではなく、支団長から授与というところに、光学級の特徴があります。証書授与の後は、学校長の話。その後来賓祝辞です。来賓として領事が「全て日本語」で祝辞を述べられました。子供たちに伝わるように話をしてくださる姿を見て、感動してしまいました。さらに岡崎支部支団長も祝辞を述べてくださいました。

祝辞が終わると「花の贈呈」です。5年生が卒業する6年生に一人一人花を手渡していきます。温かな拍手が会場を包み込んでいきました。式の最後は在校生・卒業生の別れの言葉です。代表の児童は韓国伝統のチマチョゴリを着ています。とても可愛らしい。代表児童は、「韓国のことを知れた」「韓国が好きになった」といった言葉を述べます。この言葉を聞いて、1年間指導をしてくださった先生の目に光る物が見えます。よい教育活動が行われていたと感じました。

卒業式が終わった後で、思わぬサプライズが。それは領事様から子供たちへの「プレゼント」が用意されていたのです。このプレゼントに子供たちは大喜び。こうした様子を見て「友好」という言葉が頭によぎりました。最近、国際的な紛争が多く起

きています。紛争は人を不幸にするだけです。互いを理解し尊重する心があれば、紛争はなくなり平和になるはずです。光学級で学んだ子供たちは、相互理解や相手を尊重することの大切さを学んだに違いありません。式後に来賓も含めてみんなで撮影した記念写真。この写真は大切な宝物となりそうです。日韓の友好の架け橋の一つに、光学級がなることを願ってやみません。

